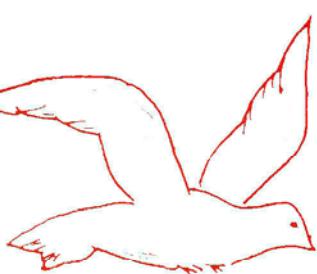


法社
人團

東京都宅地建物取引業協会
府中支部

昭和 44 年
1 月 号
No. 60

同舟



編集発行責任者 報道出版部長
報出 中道口
道部 吉一
同美

発行者 昭和四十四年一月二十日発行
府中東京都宅地建物取引業協会

編集発行責任者 報道出版部長
報出 中道口
道部 吉一
同美

発行者 昭和四十四年一月二十日発行
府中東京都宅地建物取引業協会

十二月定例役員会

(三) 例年の新年懇親会を明年一月二十日頃開催いたすことになりました。会員の方多数参加をされることをお願い致します。

とき 昭和四十三年十二月二十一日午後四時

ところ ダイワ不動産内支部事務所

出席者

山村、辻、檜ヶ峰、平井、山岸、穂谷、
栗原、芦川、結城、加藤友、吉野各理事

石川監事、報道部員出口、

欠席者 栗山、磯崎各理事

(一) 新入会者 三ツ木産業株代表 三ツ木次平氏

府中市美好町一ノ三二ノ一一

渡辺商会 代表、渡辺喜一郎氏

府中市新町二ノ十七

以上二名は昭和四十三年十一月十二日付にて入会

承認されました。

〔二〕当支部の理事栗山新助氏（栗山商事不動産）は、

十一月二十八日疾病の為國領の慈惠大附屬病院に

入院手術の上治療中でございます。

再度に渡る趣意書並び同舟等でお知らせやらる願
い致して居りますが、此れではまだ伝達方法が不足
と思ひまして、去る理事会で支部総会か説明会を開
催して決定してはどうかと言う案が出ましたので十
二月六日府中市民会館に於いて、本部の内田会館建
設委員長の出席を御願して開催致しました。

般委員長の出席を御願して開催致しました。

依つて各理事に御願い致しまして、十二月十五日迄

に集金完了の予定にて発足致しました。

何卒皆様方の御協力をお願ひ申し上げます。

謹賀新年

支部長 山村馬太郎

新しい年を迎えた様と共にお慶び申し上げます。

産業界の幾多の波乱に処しまして幸いにも、日に月に堅実な発展を遂げ新春を迎えました。これひとえに支部各位の絶大なる御指導御鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

こゝに新年を迎えるに当たり一言所信の一端を述べさせて頂きます。

思えば昨年は内憂外患相重なり、誠に多事多難な事であります。しかし今更過去の事を数えてもはじまりません。と言つてもこれをただ抹殺する事も出来ません。この事実と経験は未来の糧としたいと思ひます。この為には皆様と心を一つにして一致団結萬進致したいと思います。團結こそ支部業会発展の基礎となる事は言う迄もありません。

今后公益法人としての精神に徹し且国家産業の発展を念願として、一層勉励して永年の御寛厚に酬いたいと存じます。

何とぞ幾久しく、御叱正御指導賜りたく懇願致します。

先づは年頭に当り御挨拶申し上げます。

副支部長 辻金吾

業協会設立五年目の新春を迎えました事を皆様と共に、お慶び申上げると共に旧年中賜りました御協力を感謝いたします。

今年は業界にとつては、新都市計画法の実施、建築基準法の改政、又協会に就ては役員の改選、会館の建設等幾多の大きな問題が横たわっておりますが、皆様の力強い御支持のもとに任期まで努力して行きたいと考えておりますので、宜數く御協力の程をお願い致します。

私の心境

物値万能の世の中であつても、金儲けだけに人生の全力を費することは勿体ない。

折角の正月休みを書に親しみ句を吟じ豊かな詩情を育て、失われた東洋伝統の心を取り戻したい。生てる内に死んでも失われない何かを残すよう心掛けたいと思っています。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊
新春を迎えて

平和不動産 関 谷 鉄之助

平和と幸福 これは皆さんが望んで居ることです。

それは一人で築けるものではありません。自らの幸せは人々の幸せにつながりみんなの協力なしでは出来ないので。昭和四十四年の新春を迎えて会員の皆さんと共に仕事に会合に又旅行にと共に手を握ぎり合せて楽しくそして健康で新らしい春を迎えましょう。

それは夢にすぎないだろうか、ただおたがいにおなじ業に生きる人間です。素直に心と心を寄せあい

手と手を握りあって行けば不可能な事ではない。

真剣になれば意見の対立もおきると思ふ、だが私たち業界人としての願いが一つならからずそこには調和と力が生れて来ます。皆さんの力で業界最下位から二番目の府中支部も団結と事業で一位を勝ち取りましょう。

終りに皆様の御健康と平和並に幸福をお祈りして年頭の挨拶と致します。

8888888888888888
年頭に当たり府中支部に思う
8888888888888888

指導部長 結 城 一 等

一九六九年の新春に当たり本年度当支部のあり方に一言希望を述べたい。私は支部各位の選出に因り、理事、指導担当の重責を二期四ヶ年に涉り微力ながら勤めさせて頂き、過去四ヶ年を省みて、何等の業跡を基だ遺憾と思う次第で反省してゐる。

当支部結成以前、栗山氏の提唱に因り府中、稻城の両地区を打つて一丸として、府中、稻城不動産組

合を結成された事は周知の通りである。

当時私は、大国不動産（現大邦不動産）に在籍中、たまたま、栗山氏の意見を聞き組合結成に賛同の意を表した一人であった。即ち栗山氏の言は、組合創立は業者の質的向上を計り、業者間の福利、融合は勿論、主たる最高の目的は悪質業者のポイコットである、との意見であった。それは登記法の改正に依る解決以外にないと説明された。法律の改正は簡単ではないが絶対不可能ではない。然るに業協会が、

スタート四ヶ年の今日、この重大課題は進歩を見られず、吾我がそれ程必要とも思わ無い不動産会館やコンピューターの設置を先行、強行せんとする喫業界の執行部に、うたた失望を感じ得ない心境である。私は四ヶ年間機会ある毎に、悪徳業者の撲滅に邁しては「登記法」改正の意外に無い事を力説した一人であるが残念乍ら成果を見ざるは、不徳にして力無きを嘆笑するものである。

来る四月の当支部改選に於ては次期理事に選任せ

られた新理事諸彦は現下の我が業協会を冷静に直視せられ、『登記法』の改正に『協会の改革』に努力せられ業界百年の基礎を立てられん事を切望して新年の御挨拶に代える次第である。

終り

88四十四年度新春に

南進開発 芦川正吉

旧年よりは今年は何にがなんでもやりぬくぞと其の心構えは何時も変りなく思いつづけて居る一人であります。幸いにも四十三年度は最も目新らしい事業の一つとして多摩公正開発株式会社が総員十七名の力を結集して社長を紀の国屋の加藤友三郎氏のもとに一糸みだれず団結し開設を致し、不肖私も建設委員長の重職を致し居ります。業績も末広土地社長吉田氏のリードによりまして約二百万という利益を上る段階に迄発展致しました。此れも一重に会員の皆様方の愛と恵のたまものと感謝して居ります。

何卒本年も旧に倍して御指導御鞭撻の程をお願いして年頭の挨拶と致します。

大手商社に対しては皆様方の团结を

卒迎春所感卒

業協会府中支部監察委員長

守屋商会 横峰 優

吾々の業協会府中支部を発足以来三年目の輝しい新春を迎へるに当たり、会員各位においては、愈々御繁栄の御様子何よりも御同慶の至りに存じます。

吾々府中支部の目指す目標は、今更言ふ迄もなく会員各位の業務繁盛、経営安定こそ第一義であり、

その為にこそ、種々の企画がなされるものであります。

勿論、不動産業者の責務を痛感し乍ら、業務の正当なる遂行により、一般大衆に奉仕するといふ認識を前提として、業者の繁栄につながることでなければならぬと思ひます。

不動産業界の前途は、決して楽観視できないと思

います。

支部会員の皆様、愈々結束を固め、相互理解の下に、物件交換、業務研究等或は榮利に結ぶ一連の企画を積極的に打出し、会員各位の体质強化を計り、相互繁栄に邁進し、光栄ある昭和四十四年である様、頑張ろうではありますか。

輝しい新春を迎へるに当たり、以上かの所感と致します。

業協会府中支部監察委員長 山岸 正治

皆様明けましてお出度うございます。

昨年中は一方ならぬ御愛顧を賜はりました。本年も宜しく御願い申し上げます。本年は酉の年であります。すべてが陰陽交わり合ひ經濟界も一大転換の年でもあると申されています。ぱつと明るい気配に満ちています。

皆様方の御奮斗を御祈り申し上げます。

☆新年に当り

☆

経理部長 吉野亥之太郎

毎年のことながら新らしい昭和四十四年を迎えたことに感無量一段と業界として飛躍の年であることをお祈り申し上げます。

私は業界に身を投じて未だ日浅く先輩諸兄姉の御指導と御支援により、どうやら今日の自分として又会社として存続できることを心から感謝致しております。

振返つて本支部に於ける業界を考察するに前途は樂觀を許さず、今后一層の強固な團結と支部会員相互の精神を必要とするのではないかと思ひます。過ぎし年に於いて業協会支部としての運営は大過なく終ったと言う感じをいだくが本部運営に於いて何にか功を焦つてているように見受けられた。

先づ事業の諸計画も末端の支部会員がついて行ける事業の立案が望しく本部集権主義的な色彩が強い

感もいだく、このことは単に業協会のみならず、全般的な業界組織体ではござる同じであるが無理押しの為、実質共に力を併せて行くべき、個々の業者内の融和が侵かされることになるようなものは断固、支部としても、本部に一線を画すべきと考える。妾は協会々員あつての役員であり支部あつての本部であると思う。

いづれにしても新しく年を迎えたのであるから、本支部は首都圏近郊都市にある業界の特色を話かし、融和と互譲の精神を堅持し支部長を中心として力づよく一步一歩を踏みしめて、これから一年間を手に手つないで進もうではありませんか。

年頭に当たり理事の役職を任かされてゐる一會員として私見を記述し、新年の御挨拶といたします次第です。

☆

四十四年を迎える

法務部長 栗原常夫 ☆

ます。

何卒本年も旧年に倍しまして御支援と御引立の程を

御願い申し上げます。

四十四年の初春を迎えた皆様の御健康と業務
がんば今年こそはと元旦のとそを祝いつゝ心に決する
のであるがいともながら其の年も自新らしい事も浅
さず終つてしまふが、昭和四十三年度だけはほんと

うに意義ある多摩公正開発株式会社といふ会社が十
七名の団結により生れ私も企画部副委員長の重責を
荷いました。此の団結こそ今後の大手業者の進出を
はばむ唯一の道かと思いまして誠心誠意をもつて打
ち込んで居ります。又本年の不動産業界にせん風巻

* * 年頭所感 *

宅建講習会々長 石坂義雄

皆さん新春迎えて御自出度り御座います。

本年も旧に倍して御引立の程御願い申し上げます。

を起しました不動産管理士の試験にもバスし、現在
三多摩地区の協会副支部長並に協会本部の広報副委
員長の要職もつとめて居ります。此れも皆様方の心
からなる御後援の賜物と御鞭撻によるものと此の紙
上を借りて深く御礼申し上げます。

昭和四十四年には前年に勝る事業をと心掛けて居り

去九月第二土曜日から府中市の八千代信用さんを
お借りして都住宅局の諸先生方を御迎えして四十四
年度の宅建試験に備えて講習会を開催して参りました
が参加者が少ない様に思はれる。聞く所によると
業法はますます強化さると申されています。現在免許
を取られて業務をなされている方も一定の期間おい

て取引主任者は代表者自らがお持ちにならなければ
ならない時期も来る様な事が流れています。どうぞ
この機会に全員取引員の資格をお取りになる様にお
すすめ致します。

次に講習会場を稻城町矢野口読売ランド入口にある
振興信用組合を使用し試験前まで続ける事にきまり
ました。年々むずかしくなる宅建試験を年新らしく
なると同時に講習会に出席され完全にマスターされ
て四十四年の試験には自出度く合格されん事を心か
ら御祈りして年頭の言葉と致します。

～～～宅建取引主任者試験～～～ ～～～講習会に寄せて一言～～～

守産商会 横 瞳 優

試験日が目前に迫り泥縄式且暗記的な勉学をする
ことなく、一步一歩理解し乍ら、勉強し、応用問題
にも対処できる様心掛けるべきでしよう。

過般十一月号同舟誌上に於いて、府中支部役員と
して御願いの一文を寄せましたが、出席人員多い時
で、十八名（内役員を含む）連絡不行届の為、受講
者五名という寂しい講習会の時もありました。

尚設員皆様方の更に絶大なる御支援と御協力を御

講習会の盛会と、受講者の全員合格を目指す世話
人の一員として、何故この様なる状況にあるのか、
根本的にこの講習会を利用すべき必需性のある人は、
これ以上居られないのか、勿論世話人としての在り方
等、種々反省して居ります。

率直に言うならば、終始熱心に受講して居られる
諸兄は例外として、合格証は欲しいが、業務繁多の
為に、何試験迄には、未だ相当期間もあるといふ安
易感から、当然受講せねばならぬ諸兄で出席なさら
ぬ向も多いと思ひます。

願ひします。

十二月二十日付住宅新報から

閑谷生

三、取引主任者に対する規制を強化する。

四、取引主任者に対して登録制を実施する。

五、免許の基準を引き上げる。

六、免許の取消条件を強化する。

改正試案に基づく改正要望としては、十二項目が

かかげられているがとくに宅地建物取引といふものを

不動産取引に改める（これによつて宅地建物取引

主任者は不動産取引士宅地建物取引主任者資格試験

とあるのを不動産取引士資格試験と改める）また都

道府県知事が行なつてゐた宅地建物取引主任者資格

試験（不動取引士資格試験）を建設大臣が行ふよ

うにするなどがめだつ。

要望項目はつぎのとおり

一、宅地建物取引業法を（不動産取引業法に改める

したがつて宅地建物とあるのはすべて（不動産）と改め不動産取引業者とする。

二、宅地建物取引主任者を（不動産士）改めること

になる。

十一、都道府県に審議会の設立を義務づける。

これは従来都道府県が重要事項を調査審議させ
るため審議会を置くことが出来るものとする
あつたものを（審議会を置く）ことを義務づけ

てくれる。

十二、都道府県の業協会および同全国連合会の義務
設立並びに業者の加入を義務づける様に改正す
る。

なお當業保証金の撤廃については、まだ全員の意

見を聞く必要があるため理事会に付記することになつた。

これが住宅新報紙上に記された抜書ですが、現在当支部で行われている講習会此れを無資格者の皆さんが又とないチャンスです是非共お休みにならず講習は受けて下さい。

私が十二項目全部大事な事と思ひますが五と七はこれから免許を受ける方も試験を受ける方もなんと四十四年度にはバスするよう一言一句も逃すことをなくノートに又頭の中に講習の面を充分マスターして合格して下さい。

* * * * 店 と 人

* * * * * * * * * * * * * * 関 谷 鉄之助

同舟九月号で御紹介しました有限会社丸弥建設さんを府中若松町の店を訪れた。日曜日にもかゝわらず社員の皆さんは懸命に業務一途に働いて居られた。それもそのはず社長、追分弥一氏は何等の道楽もな

ければ此れといった趣味もなく仕事一筋に生きる方です。生れは深川生れの江戸ッ子、五十才少し越された男盛りですが、ういた事は少しもなく社員十三名、労務員五十余名を使用し一糸みだれず働いて居られます。終戦後調布にて追分工務店の名の下に建壳専門にて今日をなした名実共にりっぱな方です。不動産業の開店は昭和四十三年四月十一日、取引主任者は福島弘子さん。昭和九年生れの方です。信義誠実に御客様に接するゆえに私の訪れたのは夕方にもかゝわらず数名の客が詰かけていました。此の業界は信用第一です。又社訓四訓を日々社長初め社員の方々もそれを守りて今日の隆盛があつた事と思ふ終りに丸弥建設さんの益々発展されん事を御祈り申し上げます。



支部会員の皆様明けましてお日出度うございります。
皆様の御発展と御健勝を心からお慶び申し上げます。

理事 平井 進二郎

" " "

栗山 新之助

加藤 友三郎

磯崎 宗太郎

石川 秀一

報道出版部

監事

出口 吉美

